

ハチ公 STEAM コンテスト 入選作品展

開催に際して

今年 2023 年は、渋谷のシンボルである忠犬ハチ公が 100 歳となる年です。長年多くの人に愛され続けるハチ公と改めて向き合う節目として、渋谷や生誕地の大館市をはじめ日本各地でハチ公に関するイベントが実施されています。

本展はハチ公を題材とした作品コンテストに入選した 8 点の作品を展示するものです。コンテストには 3 歳から 70 代までの幅広い世代からの応募があり、ハチ公の根強い人気うかがえます。

本コンテスト開催のキッカケは、渋谷道玄坂にあるハチ公の隠れスポット「ハチ公マンホール蓋」です。スクランブル交差点から道元坂上までの石畳の歩道には、約 40 個のハチ公をデザインしたマンホール蓋が 30 年以上前から設置されているのをご存じでしょうか？

実は、このマンホール蓋には、「STEAM 教育」という文理を横断する創造や探究する心を育てる教育と関わりがあります。渋谷を歩き交う人の雑踏の隙間にハチ公の姿を描いたこのデザインは、数学とアートを横断する「テセレーション」（敷きつめ模様）という技法の格好の事例なのです。

このマンホール蓋をお手本としてハチ公をデザインとした作品を、本コンテストでは募集対象としました。募集部門には、腕に覚えのある方が自由に創作できる「だまし絵マンホール部門」と、どなたでも図形を並べるだけで作品をつくれる「T3 パズルアート部門」の 2 部門を設けました。

8 点の入選作品はいずれも期待を上回る力作ばかりです。ハチ公の姿をうまくとらえて図形にあてはめる珠玉の工夫が随所にみられます。作品はマンホール蓋の作者 岡康正氏と、ハチラボによる講評と併せてご覧いただけます。

本展を機に「STEAM 教育」や「敷きつめ模様」の魅力と可能性を感じていただき、皆様がハチ公をはじめとした身近な題材に改めて向き合い、素敵な創造や探究を始めるキッカケとなれば幸いです。

日本テセレーションデザイン協会

荒木 義明